

エコ・クィーン内壁材は2タイプあります。

〈粉末タイプ〉

清水（水道水）で水練りしておいただく粉末状の製品です。



仕上材

- **NSR**（しっくい風仕上材） 全14色
- **NSZ**（細粒入仕上材） 全7色
- **NZ**（顆粒入仕上材） 全7色

下塗材

- **NGU**（エコ・クィーン専用下塗材）
仕上材の長期安定接着のために必要な下塗材です。
下地のアク止めや不陸調整にも使用します。

〔保管方法〕

湿気の少ない場所で、パレットなどの上に置き、雨や水が当たらない場所で保管してください。

製造ロットによっては色味などが多少異なる場合があります。

自然素材である珪藻土は、採掘場所や地層によって、火山灰等の不純物や珪藻の種類が異なり、不純物を燃焼除去した白色珪藻土であっても、その白さや比重、吸水率が一定ではなく、そのため、製造ロットによっては、色味や練り水の量が多少異なる場合があります。あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

〔安全上のご注意〕

吸着力が強く
強アルカリ性！

- 弊社製品は大変吸着力が強く、手の脂分も吸着しますので、ゴム手袋などを着用の上、施工してください。手に付いた場合は早めに水で洗い流してください。
- 強アルカリ性の材料ですので、施工の際は、防塵マスクや防塵メガネ、保護メガネを着用してください。万一、目に入った場合は直ちに流水で洗い、医師の治療を受けてください。



〔廃棄の際のご注意〕

- 不燃性の廃棄物として、各自治体の指示に従って処理してください。空気や水に触れると硬化しますので、排水管に流さないでください。排水管を詰まらせる原因になります。

〈ペーストタイプ〉

水練りした状態でお届けする珪藻土仕上材です。



仕上材

- **PS**（顆粒無し仕上材） 全9色
- **PZ**（細粒入仕上材） 全9色

※コテ押さえのタイミングが難しく、平滑な仕上げには適しません。



使用期限があります。

箱に記載してある使用期限を厳守してください。

〔保管方法〕

直射日光を避け、気温10℃以上30℃以下で保管し、凍結にご注意ください。

エコ・クィーン珪藻土壁材には短所もあります。

珪藻土壁材〈エコ・クィーン〉は、珪藻土の特性を最大限に発揮するようにつくられています。調湿性だけではなく数々の優れた機能を発揮する壁材として多くの方々からご支持いただいておりますが、施工性を重視した他社製品とちがって、施工においては十分な配慮が必要となる壁材です。その点をご理解の上、不具合が起きないように施工には細心の気配りをお願いいたします。

長所

- 光触媒効果と抗酸化作用により → 空気清浄・消臭
活性酸素や化学物質を分解・除去 防汚
- 活発な吸・放湿性 → 調湿・結露防止
- 超多孔構造 → 省エネルギー（蓄熱・断熱）
音響効果
- 火に強く燃えない → 火事に強い
- 強アルカリ性 → カビが生えにくい

短所

- 気象条件の影響を受けやすい → 色ムラ・白華・硬化不良をおこさないよう、施工環境等に配慮が必要
- 弾力性がない → 下地に動きがあるとクラックが生じるため、壁下地づくりにも配慮が必要
- 自然素材 → 製造ロットによっては、若干色味が異なることがある

目次

ご満足いただける仕上がりのために

- 2 施工環境に配慮を
- 4 丈夫な壁下地が基本

壁材の練り方・取り扱い方

- 6 粉末タイプの水練り方法
- 7 ペーストタイプの取り扱い方

内壁材の施工方法

- 8 プラスターボード（粉末タイプ）
- 10 プラスターボード（ペーストタイプ）
- 12 ビニールクロス
- 14 布クロス・紙クロス
（クロスを剥がしたプラスターボード・合板）
- 16 ラスボード
- 16 合板
- 17 土壁
- 17 塗り壁（しっくい壁、じゅらく壁、繊維壁など）
- 18 塗装壁（ペンキなど）
- 18 ケイカル板・モルタル・コンクリート
- 19 タイル・樹脂ボード（浴室・台所など）

補足解説

- 20 コーナー定木を使う場合の処理方法
- 21 施工に適さないビニールクロス
- 21 下塗りの目的と厚み
- 21 異臭を出すクロスのチェック法

仕上げ塗りの要領

- 22 仕上げ塗りの要領と注意点

トラブル・補修方法

- 24 トラブル／原因と対処法
- 27 キズ・へこみの補修方法
- 27 ヘアークラックの補修方法
- 27 全面塗り替えの方法

お手入れ

- 28 日頃のお手入れについて

巻末 〈エコ・クィーン〉全製品一覧表